

子どもの健康づくり連携事業〈専門医の派遣〉実践例

中学校⑦

〔専門医による講話〕

- 1 テーマ「性についての講演」
- 2 対象 3年生徒
- 3 専門医 高橋 一広 医師
(あかねヶ丘高橋レディースクリニック)
- 4 実施月 6月
- 5 内容(キーワード)
男女の違い、妊娠の仕組み
望まない妊娠への対処法
LGBTQを知ろう 相手を思いやる心と自分を大切にすること



評価(あてはまるものに○をつけ、理由を記入)

①健康課題の解決について

- 有効だった
有効でなかった

<その理由>

*男子と女子の体と心の違いを知り、男女が互いに相手を知り、気遣いながら支え合うことの大切さを学ぶことができた。また、不幸にして望まない妊娠などがあった場合にどう対処すべきなのかを学ぶことができた。

②保健教育における校内連携について

- 有効だった
有効でなかった

<その理由>

*年間計画に位置付け、管理職・養護教諭と連携して準備を進めることができた。当日の運営については学年自治会の生徒たちが役割分担して行うことができた。

③校外の関係機関等との連携について(派遣専門医を含む)

- 有効だった
有効でなかった

<その理由>

*講師の担当医とは、メールや電話で打ち合わせを行い、スムーズに調整することができた。

〔受講者の感想など〕

- 性について初めてこのような形で聞くことができた。改めて男女の身体と心の違い、互いを思いやること、自分を守ることの大切さを知ることができた。
- LGBTQ について知り、社会には様々な人がいて、それぞれが苦しみながら悩みながら頑張っていることを知った。私も多様性を尊重できる人間になりたいと思った。



〔教科やその他の指導との関連性〕

- 保健体育・道徳